

# 土壌害虫防除の決定版!!

# カルホス<sup>®</sup> 微粒剤F

農林水産省登録 第13873号

- 飛散が少なく、作業が簡単!
- 地下部を加害する土壌害虫にすぐれた効果!  
ネキリムシ、ハリガネムシ、コガネムシ、タネバエ、ケラ
- 作物への吸収移行がない!
- 土壌中での適度の残効性!
- 悪臭や刺激性がなく、使いやすい!



ネキリムシ 幼虫



ハリガネムシ 幼虫



コガネムシ 幼虫



タネバエ 幼虫



ケラ

## 播種前・植付時の 土壌混和处理で安定した効果!!



### 上手な使い方

### ネキリムシの 生態と防除



# 土壌害虫防除の決定版!! カルホス® 微粒剤F

■有効成分：イソキサチオン…3.0% ■毒性：劇物

(平成22年12月22日現在の登録内容)

## 適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
りんご	モモシクイガ	5kg/10a	夏繭営繭時～ 第一世代成虫羽化期	4回以内	地表面散布	4回以内
キャベツ はくさい レタス 非結球レタス	ネキリムシ類	6kg/10a	は種時又は植付時	1回	土壌表面散布 土壌混和処理	1回
だいこん			は種時～生育初期 但し、収穫30日前まで	2回以内		2回以内
エンダイブ			定植時	1回		1回
ねぎ			は種時 植付時	2回以内		4回以内 (は種時は1回以内、 植付時は1回以内、 植付後は2回以内)
わけぎ あさつき			は種時又は植付時	2回以内		2回以内
かんしょ	ドウガネブイブイ幼虫	9kg/10a	挿苗前	1回	挿苗前に畦内の 元肥位置に散布し、 土壌混和処理	4回以内 (挿苗前の土壌混和は1回 以内、散布は3回以内)
だいず	タネバエ ネキリムシ類	6kg/10a	は種時 は種時又は定植時	2回以内	土壌表面散布 土壌混和処理	2回以内
えだまめ	タネバエ ネキリムシ類		は種時	1回		5回以内 (粉剤及び粉粒剤のは種時の 処理は合計1回以内、粉剤 及び粉粒剤の定植時は合計 1回以内、粉剤の土壌表面 散布は1回以内、粒剤の土 壌表面株元処理は2回以内)
	ネキリムシ類		定植時			
いちご(仮植床)	コガネムシ類幼虫	9kg/10a	植付時	1回	作条処理土壌混和 植穴処理土壌混和 作条処理土壌混和 土壌表面散布 土壌混和処理 株元散布	1回
食用ぎく	ネキリムシ類	6kg/10a	定植時			
しゅんぎく		株当り3g				
かぼちゃ すいか	タネバエ	6kg/10a	は種時			
ほうれんそう	ネキリムシ類		収穫21日前まで			
もりあざみ	ネキリムシ類	6kg/10a	定植時			
ほうきぎ						
たばこ	ネキリムシ類 ハリガネムシ	6～9kg/10a	植付前	土壌表面散布 土壌混和処理	2回以内	
花き類・ 観葉植物	カブラヤガ	6kg/10a	定植時	作条処理土壌混和	1回	

### ●だいず・ネキリムシ類(タマナヤガ)に対する効果

平成14年 秋田農業試験場

発生状況：少 品種：リュウホウ 播種：5月30日  
処理方法：播種当日の5月30日に所定量を作業に土壌表面へ処理した。  
対照剤は播種14日後の6月13日に所定量を全面処理した。  
調査：播種21日後に被害率を調査した。  
考察：無処理と比較して被害率が少なく高い防除効果が認められた。

	被害率率 (対無処理比)
0	20
40	
カルホス微粒剤F 播種前土壌表面散布 土壌混和 6kg/10a	3.9
対照 A 剤 出芽時土壌表面散布 3kg/10a	32.2

## 注意事項

### ⚠️ 効果・薬害等の注意

- りんごのモモシクイガ(シンクイムシ)に対する地表面散布では、次の注意を守ってください。
  - ・地表面散布はシンクイムシの密度低下を目的とし、必ずシンクイムシ防除剤による樹上散布を併用してください(効果)
  - ・地表面に均一に散布し、土壌混和はしないでください(効果)
  - ・発生予防に注意し、時期を誤らないようにしてください(効果)
  - ・散布適期は夏繭営繭時から成虫羽化初期(6月中旬～7月)ですが、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- キャベツ、だいずに使用する場合は、植溝又は播溝に幅広く散布し、土壌とよく混和してください。植穴又は播穴処理はさけてください(効果)
- たばこに使用する場合は、植付ける作条に幅広く散布し、土壌とよく混和してください。植穴処理はさけてください(効果)
- いちごに使用する場合は、仮植床全面に均一に散布し、表土とよく混和してください。
- かんしょのドウガネブイブイ幼虫防除には、次の事項を守ってください。

- ・挿苗前に畦内の元肥位置に散布し、畦内の土壌とよく混和してください。畦立後ビニール、ポリエチレン等でマルチを行ってください(効果)
- ・ドウガネブイブイの発生が遅れた場合、あるいは後期には効果が不十分になることがあります(効果……残効性短い)
- ・火山灰土壌での使用はさけてください(効果不安定)
- つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に対しては、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

### ⚠️ 安全使用上の注意

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。

- 作業の際は防護マスク、手袋、不透水性防除衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に異常を感じた時は直ちに医師の手当を受けてください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消化剤等で消火に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
- 移送取扱いはていねいに行ってください。

- 治療法**：硫酸アトロピン製剤およびPAM製剤。
- 魚毒性**：一時に広範囲に使用する場合は十分注意。
- 保管**：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。カギをかける。盗難・紛失の際は、警察に届け出る。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

\*本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

製造



保土谷UPL株式会社  
東京都中央区日本橋三丁目14番5号

取扱店